



繋がる力で未来をひらく
希望をつくる一歩をみなさんと共に！

服部 はっとり
のりふみ

服部紀史のプロフィール

生年月日：昭和35年1月2日生(64歳)

家族構成：母と長男との三人暮らし

学歴

最終学歴：中津川工業高校卒業(昭和52年度)

性格等

性 格：真面目で、何事も粘り強く最後までやり遂げる。

信 条：できることは直ちに実行する。

座右の銘：昨日より今日、今日より明日

趣 味：ゴルフ、ドライブ

一期目の経歴

令和3年

- 経済建設委員会（副委員長）
- 広報公聴特別委員会（副委員長）
- 瑞浪恵那道路・新丸山ダム建設促進特別委員会委員

令和4年

- 広報公聴特別委員会（委員長）
- 市民福祉委員会（副委員長）
- リニア中央新幹線対策特別委員会委員

令和5年

- 市民福祉委員会（委員長）
- 広報公聴特別委員会（副委員長）
- リニア中央新幹線対策特別委員会委員

● 議会運営委員会委員

● 新政会会計（会派）

令和6年

- 総務文教委員会（委員長）
- 議会運営委員会（副委員長）
- 広報公聴特別委員会委員
- リニア中央新幹線推進特別委員会委員
- 新政会幹事長（会派）

内部資料

二期目に向けての決意

一期目は、コロナ禍の影響もあり思っていたような活動はできませんでした。そんな中でも、自治区運営協議会や各種団体の会議に積極的に参加し、地域課題の把握に努め市政に反映するよう全力で取り組んできました。また、議会の定例会ごとに活動報告書の発行ができ、議会の仕組みを含めわかりやすく伝えることができたと考えています。

「希望もてる地域づくり」といったテーマで取り組みを始めましたが、コロナの影響もあり地域は本当に深刻な状況になってきています。持続可能といったことがよく言われますが、そのためには、これまでの仕組みを考え直さなければなら

ないとも考えています。そのためには、これまで以上に皆さんとの語らいを通じて「希望」をテーマに更に地域づくりに邁進していきたいと決意しているところでありますので、是非、後援会へ入会いただき一緒に考え行動できる仲間としてご協力をお願いします。

後援会規約(要約)及び連絡先

- 第1条 本会は、服部紀史後援会と称し、主たる事務所を恵那市岩村町飯羽間3126番地に置く。
- 第2条 本会は、服部紀史氏の政治活動を後援し、会員相互の親睦を深めるとともに、地域社会の発展を図ることを目的とする。
- 第3条 本会は、前条の目的を達成するための事業を行う。
- 第4条 本会は、第2条の目的に賛同するものをもって会員とする。
- 第5条 本規約の改廃は、総会において決定する。
- 第6条 本規約に定めのない事項については、役員会で決定する。

服部紀史後援会

〒509-7401 恵那市岩村町飯羽間3126番地(自宅)

TEL/FAX: 0573-43-3835

Mail: norifumi@ccm.enat.jp

Web: http://www.ccm.enat.jp/



みんなが笑って暮らせる地域づくりを一緒に始めませんか！

私の基本姿勢

- 地域の声をまとめる。そして市政に反映させる。
- 国、県議会議員との連携を図り、地域の声を国政及び県政に届ける。
- できることから、ねばり強く取り組む。

二期目の課題と実現したいこと



人口減少



コロナ禍による影響で、以前の日常に戻れず地域の活力が低下してしまった。
→人口減少を受け入れつつ、活力ある持続可能な地域をつくること。



高齢化



地域共生社会を目指した地域包括ケアシステムの構築が課題である。
→高齢化が進展する中で安心して暮らせる地域づくりを推進すること。



子育て



人口減少対策の中でも最優先課題であり、今後も積極的な施策展開が必要である。
→地域で子育てを支えられる環境の充実を図ること。



雇用



人口減少とともに事業継承等の課題が表面化してきている。
→地域内の経済循環を活発にしながら雇用を創出し産業振興を図ること。



防災



地域の安心・安全の要である消防団員の激減の対策が急務である。
→地震、豪雨といったこれまでに経験したことのない災害への備えを推進すること。



リニア



関連するリニアまちづくりソフト事業の着実な推進を図る必要がある。
→リニア中央新幹線を生かしたまちづくりの推進を図ること。



地域



人口減少とともに地域の担い手不足が顕著になってきている。
→地域の特色を生かしたまちづくりの推進を図ること。